

風水害＆土砂災害

風水害について

水害とは、大雨や台風などの多量の降雨によって引き起こされる災害です。日本では、毎年、梅雨期の大気や台風などにより、平年の1か月の雨量を超えるような雨が短時間で降ったり、激しい雨による河川の急激な増水により、社会生活に大きな影響を及ぼす河川の氾濫や土砂崩れなどの災害が発生しています。

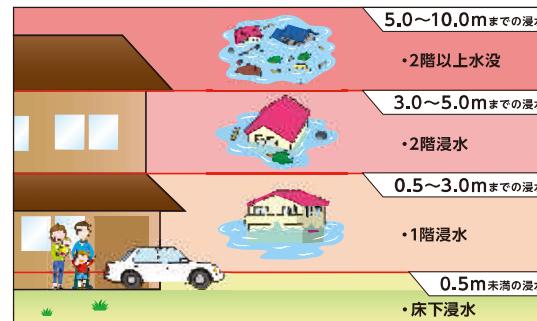
洪水浸水想定区域(P8~16)

洪水浸水想定区域は、「想定最大規模の降雨」が発生し、関係河川(桜川、弘田川、土器川、金倉川)が氾濫したことを想定したものです。

「想定最大規模」の降雨とは

近隣の河川等における降雨が関係する河川等でも同じように発生すると考え、日本を特性が似ている地域に分け、それぞれの地域において観測された最大の降雨量です。

浸水深の目安



このハザードマップの洪水浸水想定区域では、浸水の範囲と浸水深を表しています。台風などによる激しい降雨時には、自身の家や近隣の道路、施設などにどのようなリスクがあるか確認しましょう。また、避難経路や避難場所などを確認しておきましょう。

道路アンダーパス部の冠水に注意

アンダーパスとは、鉄道や道路などの下を通過する、周辺の地面より低くなっている道路のことをいい、集中豪雨などで降雨量が増え、排水能力を超えた場合などに道路が冠水します。

こうした箇所では、周囲地盤面より高さが低いため、相当な深さで冠水するおそれがあります。

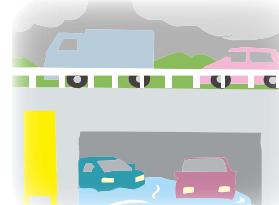
大雨や台風時は、通行を避けましょう。

多度津町の道路アンダーパス部

葛原 国道11号多度津高架橋下BOX



県道25号線多度津琴平街道跨線橋下



(場所は、風水害&土砂災害ハザードマップに表記しています。記載例)



土砂災害について

土砂災害のおそれのある地域は「土砂災害(特別)警戒区域」に指定されています。

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

土砂災害のおそれがある区域

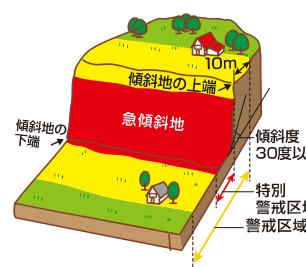
土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

建築物に破損が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域

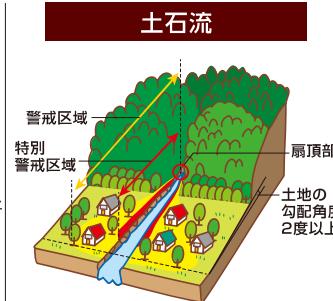
急傾斜地の崩壊などが発生した場合に、住民の生命または身体に危害が生じるおそれがある区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が必要です。

急傾斜地の崩壊などが発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制などが行われます。イエローゾーンの中で特に危険な区域。

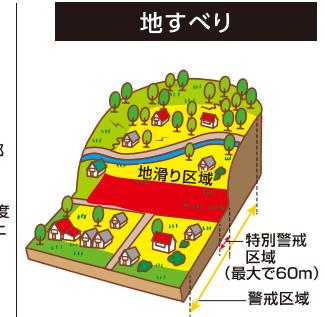
がけ崩れ



土石流



地すべり



土砂災害警戒情報が発表されていなくても、普段と異なる状況「土砂災害の前兆」に気付いた場合には、直ちに周りの人と安全な場所に避難するとともに、役場などの関係機関に連絡してください。日頃から危険箇所や避難場所・避難経路を確認しておくことが重要です。ハザードマップ(P8~16参照)の土砂災害(特別)警戒区域を確認してください。

がけ崩れの主な前兆現象



土石流の主な前兆現象



地すべりの主な前兆現象



風水害&土砂災害ハザードマップ

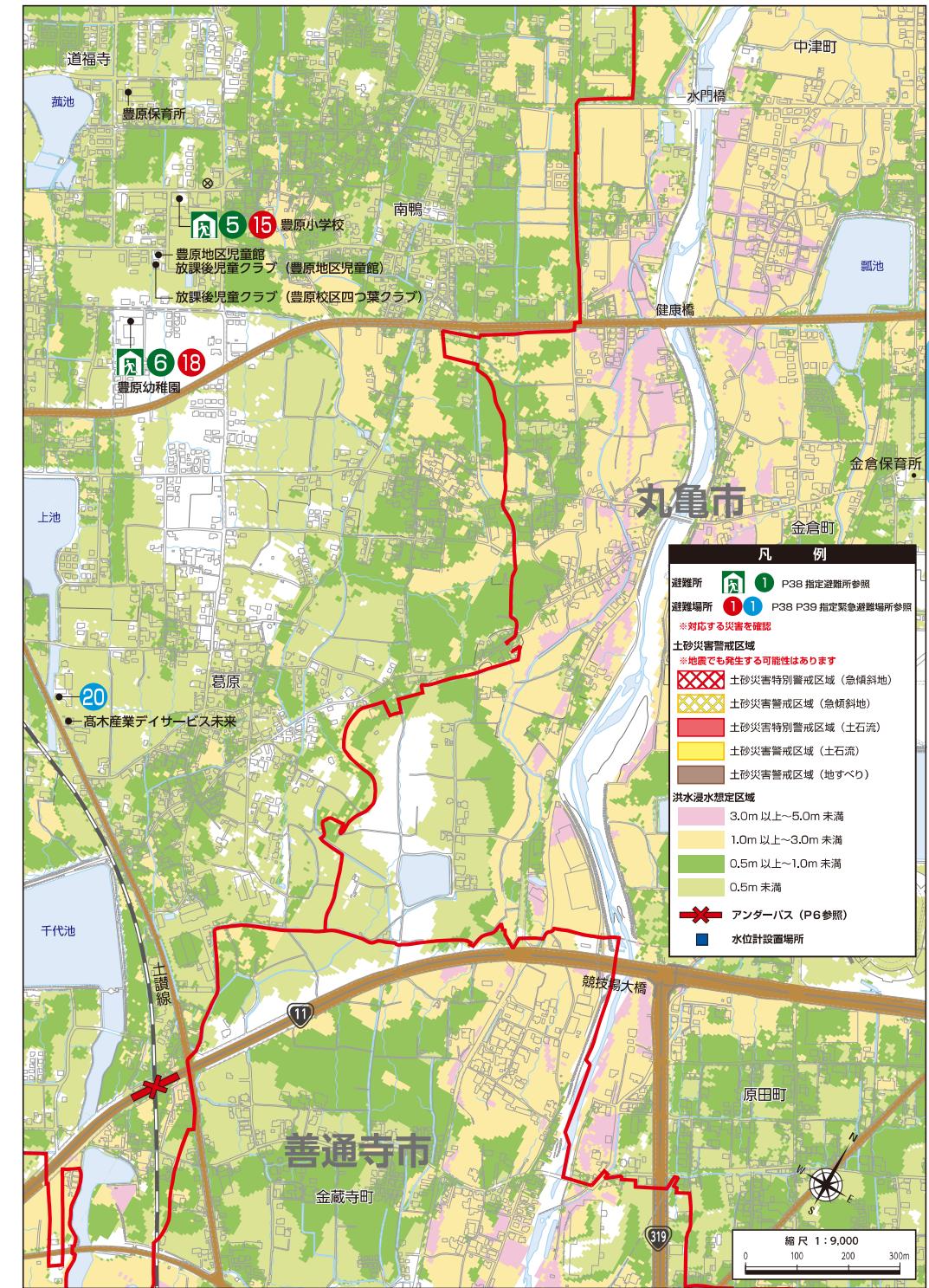
凡 例

避難所		① P38 指定避難所参照
避難場所		② P38 P39 指定緊急避難場所参照
※対応する災害を確認		
土砂災害警戒区域		
※地震でも発生する可能性はあります		
土砂災害特別警戒区域（急傾斜地）		
土砂災害警戒区域（急傾斜地）		
土砂災害特別警戒区域（土石流）		
土砂災害警戒区域（土石流）		
土砂災害警戒区域（地すべり）		
洪水浸水想定区域		
3.0m 以上～5.0m 未満		
1.0m 以上～3.0m 未満		
0.5m 以上～1.0m 未満		
0.5m 未満		
アンダーバス（P6 参照）		
水位計設置場所		

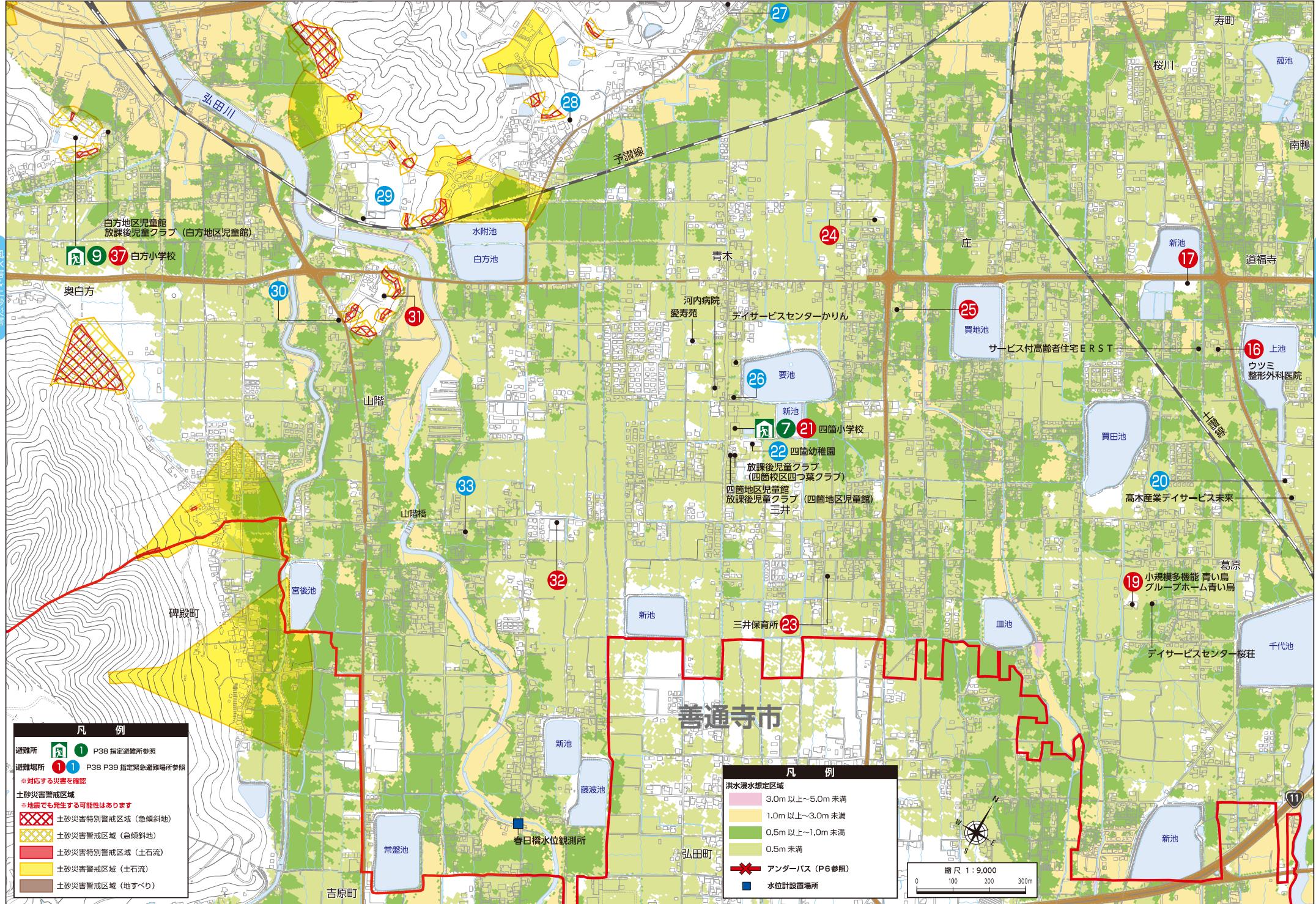
縮尺 1:9,000
0 100 200 300m



風水害&土砂災害ハザードマップ



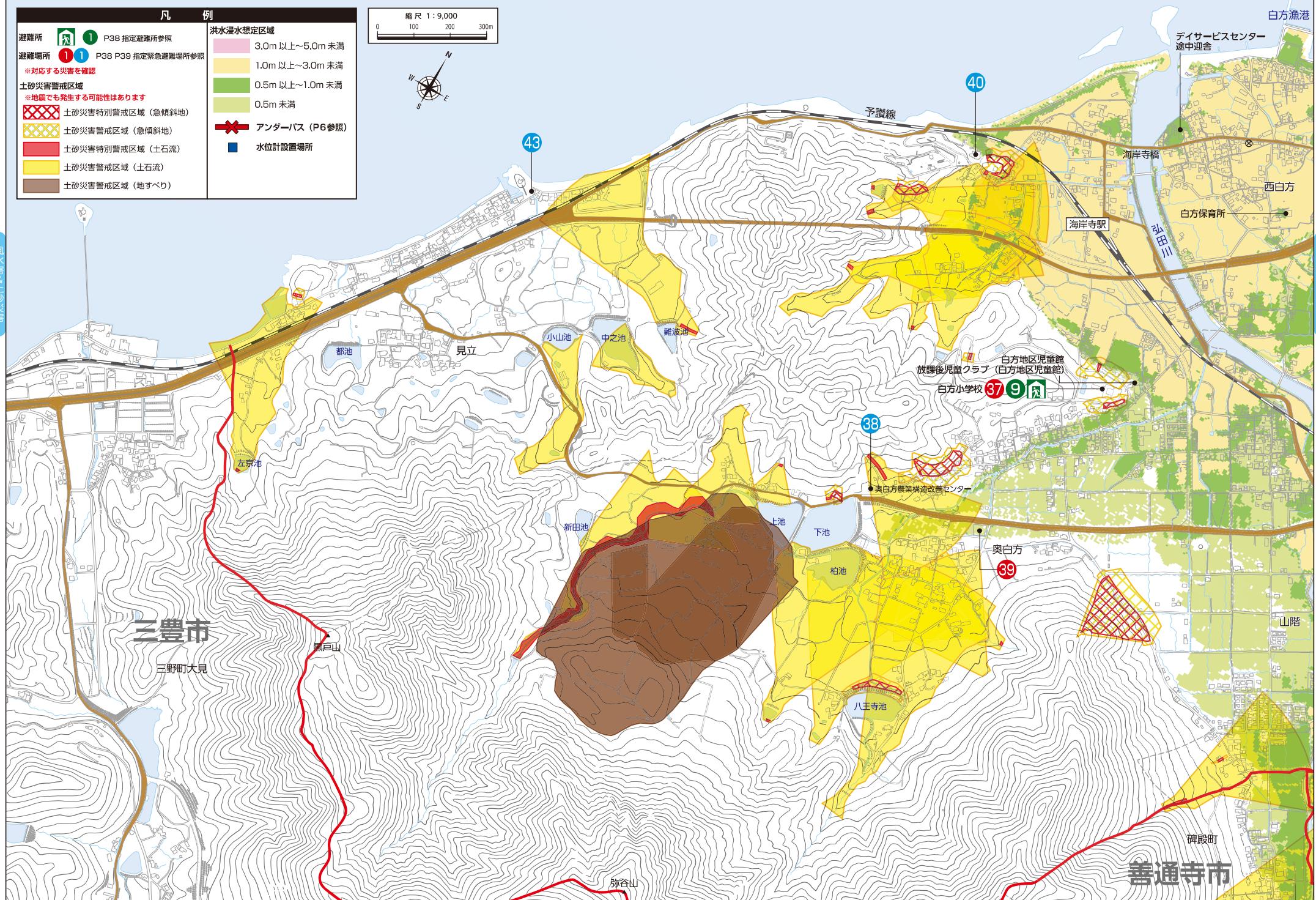
風水害&土砂災害ハザードマップ



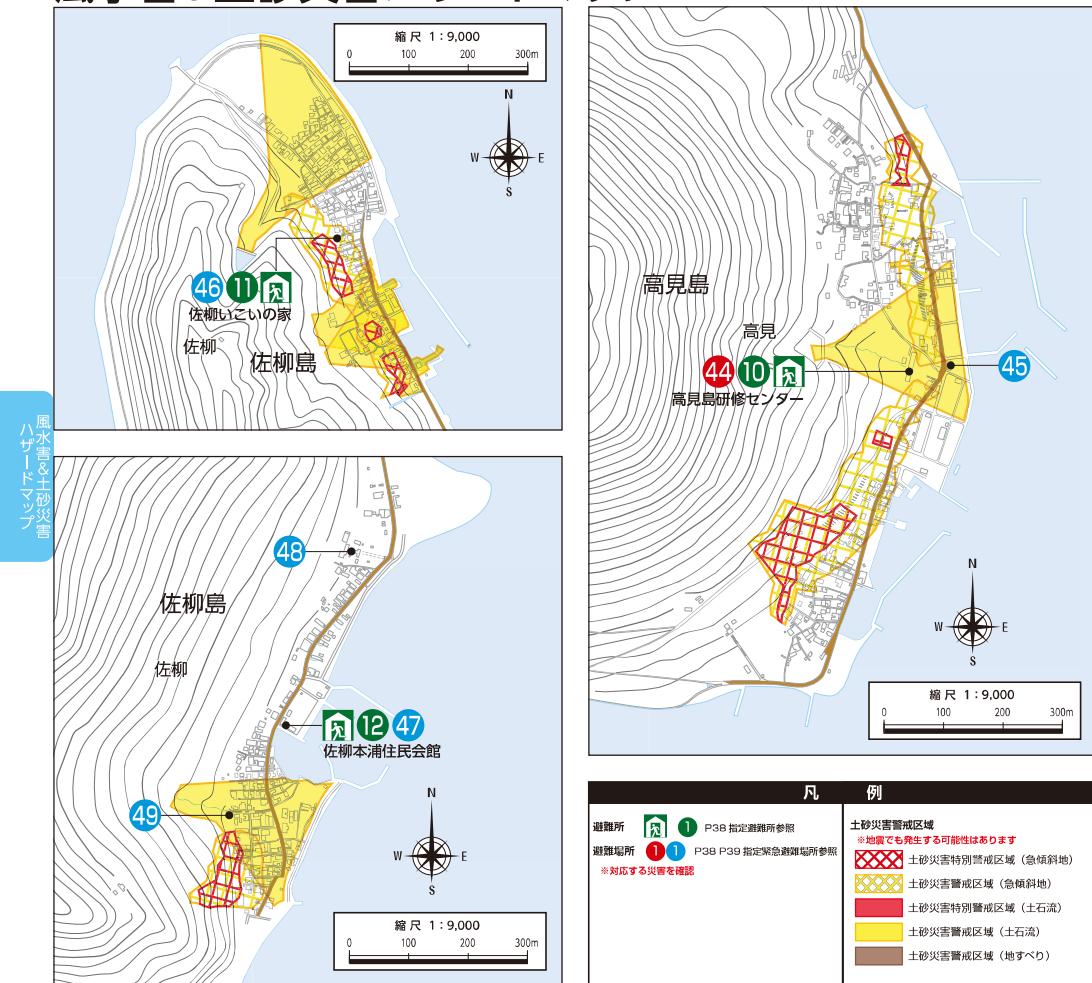
風水害&土砂災害ハザードマップ

凡 例	
避難所	① P3B 指定避難所参照
避難場所	① P3B P39 指定緊急避難場所参照
※対応する災害を確認	
土砂災害警戒区域	
※地震でも発生する可能性があります	
土砂災害特別警戒区域（急傾斜地）	
土砂災害警戒区域（急傾斜地）	
土砂災害特別警戒区域（土石流）	
土砂災害警戒区域（土石流）	
土砂災害警戒区域（地すべり）	
アンダーパス（P6参照）	
水位計設置場所	

縮尺 1:9,000
0 100 200 300m



風水害&土砂災害ハザードマップ



①避難を開始するタイミング

あなたが避難しようと思ったとき、外は大雨など「外に出たくない」と思われる状況になっていることもあります。
しかし身を守るために、**早めの避難(自主避難)が大切です**。危険を察知したら速やかに避難しましょう。

